



協会報

2018

発行日 毎月1日 通算発行 391号

11



今月のトピックス

平成30年度 北陸建設業協会地域懇談会の開催
最近の完成工事から

一般国道416号福井・石川県境道路の完成

～車両交通不能区間の解消～ 石川県南加賀土木総合事務所



石川の工芸シリーズ 小松市立博物館蔵
耀彩壺「恒河」 <三代徳田八十吉【昭和8(1933)年-平成21(2009)年】>

制作年 / 平成15(2003)年 サイズ / 高さ46cm×胴径46cm 技法 / 彩釉
三代徳田八十吉は小松市に生まれ、祖父の初代八十吉より色釉の調合を学び、色の濃淡で美しさを表現する独自の作風を生み出した。平成9(1997)年には「彩釉磁器」で重要無形文化財保持者に認定された。作品は、数十種類の色釉を塗り分け、宇宙の神秘やエネルギーを表現したもの。境目の色釉が高温で焼き上げられることで溶け合い、美しいグラデーションを生み出している。

“未来”を創り “ふる里”を守る 建設産業

発行所 一般社団法人

石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL(076)242-116(代) FAX(076)241-9258

URL-<http://www.ishikenkyo.or.jp/>

◆ 今月のトピックス ◆

平成30年度 北陸建設業協会地域懇談会の開催

平成30年度の北陸建設業協会地域懇談会は、10月16日(火)午後2時30分から、金沢市のホテル日航金沢において、国土交通省、全国建設業協会、石川・富山・新潟各県建設業協会の関係者67名参加のもと開催された。

会議の冒頭、開催県である石川県建設業協会吉光武志会長が挨拶で、全国各地の記録的な災害発生を踏まえ、被災地域の復旧・復興事業に加えて、事前防災として地域の防災力の強化に向けた大型補正予算の編成と来年度当初予算の増額確保を訴えた。続いて

国土交通省土地・建設産業局長 野村正史

国土交通省大臣官房技術審議官 五道仁実

一般社団法人全国建設業協会会長 近藤晴貞

の各氏が開会の挨拶を行い、全国建設業協会伊藤 淳専務理事の司会で、国土交通省、(一社)全国建設業協会、北陸建設業協会から提出された次の議題で意見交換を行った。



国土交通省提出議題

1. 「地域の守り手」としての建設産業の持続可能性の確保
災害時の緊急対応の推進
建設産業における働き方改革等（週休2日の推進、適切な賃金水準の確保等）
建設生産システム全体における生産性向上等の改善（i-Constructionの推進等）
2. 「担い手3法」の取組の推進（適正な予定価格の設定、ダンピング対策の実施、施工時期の平準化等）
3. 建設分野における外国人材の受け入れ

全国建設業協会提出議題

1. 経営の安定化
2019年度当初予算の大幅な増額確保と2018年度大型補正予算の早急な編成。地域間格差是正のため、事業量の少ない地域に対する予算、事業の傾斜配分を徹底すべき。
国土強靱化、インフラの老朽化対策などの事業見通しと合わせて投資額の明示をすべき。
適正利潤の確保
除雪グレーダー等の特殊な建設機械は、発注者所有か企業が所有できる単価アップ等の環境整備を行うべき。
改正品確法運用指針を地方自治体へ徹底させるための是正勧告や民間工事への考え方の適用など、次期担い手3法改正の中で、発注者責任に対する対応の強化・徹底を図るべき。
地域の災害対応に関する協議の場等を活用し、関係機関が優先順位を付けた上で出動要請が行える体制整備が必要。また、地域建設企業が安心して災害活動に従事できるよう、災害対応時の補償に関する項目を災害協定に定めるべき。
2. 働き方改革、生産性向上
週休2日工事の普及促進に向けて、設計労務単価の更なる引き上げや日給制作業員の週休2日を考慮した補正係数の大幅な引き上げが必要と考えるが如何。
夏場の作業は、熱中症予防を考慮すると、積算の補正と工期への配慮が必要と考えるが如何。
除雪作業は、災害扱い又は災害に準じた扱いとするなど時間外労働規制の対象とすべきと考えるが如何。また、積雪寒冷地では特有の作業を必要とするため、積雪寒冷地独自の積算方式を設定すべきと考えるが如何。
発注時の設計精度向上は生産性向上に寄与すると考えるが如何。また、地方公共団体等を含め発注・施工時期の平準化の更なる推進が必要と考えるが如何。
「ICTの深化」のためにも、中小企業支援策を強化すべきではないか。
書類の簡素化について、民間工事も含めた取り組みを進めるための方策如何。

北陸建設業協会からの提案議題

1. 公共事業予算の持続的・安定的確保と国土強靱化等の積極的な推進について (石川県協会)
2. 改正品確法運用指針の更なる徹底と入札契約制度の改善について (石川県協会)
3. 地元企業の受注機会の拡大について (富山県協会)
4. 夏期の熱中症対策について (富山県協会)

今回の懇談会の意見交換で、吉光会長は、懇談会の議題となった地域の守り手としての建設産業の持続可能性の確保では、「災害時の緊急対応について出動要請する行政機関が、積極的に地域の守り手である建設業の災害対応活動を広報するよう努めていただきたい。」建設産業における働き方改革では、「週休二日工事について不稼働日も含めた適切な工期設定、技能労働者の収入減にならない労働単価アップ、工期が長くなることによる共通仮設費、現場管理費の補正等について実態調査により現場に適合した見直しに配慮をお願いしたい。」生産性向上への改善については、「設計工期を平準化して検証期間を確保すること、特に技術力が不足する市町等への指導・助言受託制度を充実していただきたい。」ICT施工に向けた環境整備では、「三次元データ作成演習などICTに関する研修充実、現場に即した単価、歩掛り、諸経費など積算基準の更なる改善、ICT機械購入促進に向けた補助金の拡充と中長期的な事業量の見通しを公表し設備投資計画を立てやすくしていただきたい。」と意見を述べた。

なお、今回の地域懇談会の各機関・団体の出席メンバーについては次の通り。

国土交通省

土地・建設産業局 局長	野村 正史
大臣官房 技術審議官	五道 仁実
土地・建設産業局 建設市場整備課長	小笠原 憲一
大臣官房 技術調査課 建設技術政策分析官	森田 康夫
土地・建設産業局 建設業課 入札制度企画指導室長	岩下 泰善
北陸地方整備局 局長	吉岡 幹夫
北陸地方整備局 次長	佐々木 宏
北陸地方整備局 総務部長	藤原 啓志
北陸地方整備局 企画部長	内藤 正彦
北陸地方整備局 建政部長	牧野 浩志
北陸地方整備局 企画部 技術調整監理官	村下 剛
北陸地方整備局 企画部 技術管理課長	松永 和彦
北陸地方整備局 建政部 建設産業調整官	秋山 勉
北陸地方整備局 建政部 計画・建設産業課長	愛内 友治
北陸地方整備局 金沢河川国道事務所長	山田 哲也

(一社)全国建設業協会

会長	近藤 晴貞
副会長	岩田 圭剛
専務理事	伊藤 淳
常務理事	若山 勝行
技術顧問	牧角 修
労働部長	長尾 正弘
総務部次長	関澤 健太郎
事業部事業第二課長	大濱 和寛
労働部労働課長	宇都宮 卓哉

(一社)石川県建設業協会

会長	吉光 武志
副会長	小倉 淳
副会長	平櫻 保
副会長	江口 介一
副会長	鶴山 庄市
以下23名	

(一社)富山県建設業協会

会長	竹内 茂
副会長	山本 隆
副会長	高田 均
以下19名	

(一社)新潟県建設業協会(オブザーバー)

会長	植木 義明
専務理事	長谷川 誠

最近の完成工事から

一般国道416号福井・石川県境道路の完成 ～車両交通不能区間の解消～

石川県南加賀土木総合事務所

1 はじめに

国道416号は、福井県福井市を起点とし勝山市を経て、石川県小松市に至る総延長約90kmの路線であり、石川・福井両県の交流促進の基盤となる重要な県際道路です。(図-1)

このうち、勝山市野向町横倉(のむきちょうよくら)から小松市新保町(しんぼまち)間の県境部6.3kmについては、非常に険しい山間部で車が通れない、いわゆる交通不能区間となっていたことから、石川県では平成18年度から、また福井県では平成19年度から1.5車線の道路整備に着手し、「福井しあわせ元気国体」までの完成を目標に石川・福井両県が連携を図りながら整備を進めてきた結果、平成30年9月9日に開通しました。



図-1 位置図

2 事業概要

路線名：一般国道416号

事業箇所：福井県勝山市野向町横倉
～石川県小松市新保町地内

全体延長：L=6.3km(福井県：3.8km、石川県：2.5km)

幅員：W=4.0m(5.0m)(一般部)

W=6.0m(7.0m)(待避所部)



写真-1 完成した道路(石川県側県境付近)

3 事業の効果

沿線に美しい自然景観を有する本道路の完成により、石川県側の小松空港や粟津温泉をはじめとする加賀温泉郷と福井県側の恐竜博物館などを結ぶ新たな観光ルートが形成され、両県の観光振興や活性化に大きく寄与することが期待されます。



写真-2 県境部からの眺望(福井県側)



写真-3 美しい溪流(大日川)



写真-4 春の十二ヶ滝

4 自然環境への配慮

事業地は大日川の源流域に位置し、自然環境が豊かな地域であることから、自然環境に配慮した計画としました。

- ・植物については、湿地を回避したルートとすることで、湿生植物群落（フトヒルムシロ）を保全しました。また、道路構造を擁壁とすることで、ブナ群落等への影響を最小限にとどめました。
- ・猛禽類については、事業地周辺に希少猛禽類であるクマタカが生息していることから、毎年モニタリング調査を行い、工事による影響を監視しました。その結果、工事後も繁殖状況、生息状況ともに影響がないことを確認しました。（写真 - 5）
- ・その他の生物についても、工事前後に環境調査を行い、工事による自然環境への影響がないことを確認しました。（表 - 1）



写真 - 5 クマタカ幼鳥

	事前調査 H18	事後調査 H30
両生類	7種19個体	7種35個体
爬虫類	3種5個体	5種8個体
哺乳類	4種7個体	7種24個体
魚類	2種31個体	2種43個体

表 - 1 種と個体数

5 開通式

9月9日には、両県知事、勝山・小松市長など、多数の関係者の列席のもと、勝山ふれあいセンターにて開通式が盛大に執り行われました。開通式では、ひやくまんさんをはじめ両県、両市のゆるキャラが集合し、開通した道路のドローン映像の放映や、小松市のチーム和ライブと勝山市の大日太鼓によるアトラクションも行われました。



写真 - 6 チーム和ライブによる創作舞踊



写真 - 7 記念撮影

6 おわりに

本道路は、古くは勝山市側からは生活必需品、小松市側からは木炭を運ぶなど人やものが盛んに往来する交易路でありました。今回の交通不能区間の解消により、かつての交易路が復活し、県境を越えた交流の促進に大いに寄与するものと考えています。

最後になりますが、本道路の整備に多大なるご尽力をいただいた関係各位にこの場をお借りして感謝申し上げます。



写真 - 8 県境部（石川県側から福井県側を望む）

平成29年度 農林水産部優良建設工事 知事表彰の紹介

vol.10

施工企業名：寺井建設株式会社

工事名 平成27年度 県営ほ場整備事業(農業法人育成型)相神地区 区画整理工事その4

施工場所 羽咋郡志賀町相神、ほか2地内

工事概要

区画整理工 A=3.2ha

工期 平成28年3月31日～平成28年12月9日

推薦理由

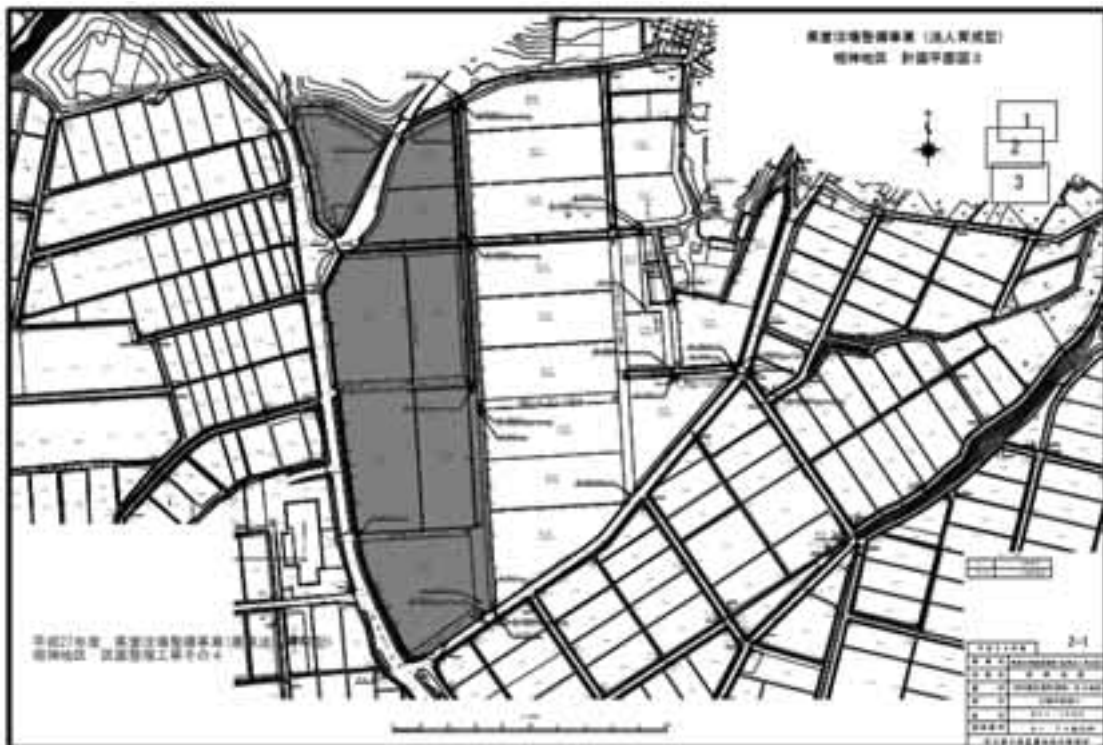
本工事は、住宅地や町道及び国道249号に近接していることから、客土などの搬入において、交通誘導員の配置などにより、一般車両や地域住民への安全対策を行った。また、水きり溝の施工により基盤土の軟弱化を防ぐなど、すべての項目で管理基準を満足する優良な出来形を確保した。



着工前



完成



計画平面図



水切り溝の施工



均平作業状況



交通誘導員の配置



立入防止ロープの設置



地元説明会の実施

現場代理人のコメント



現場代理人
青山一治氏

この度、栄えある県知事表彰を賜り大変感謝しております。これも発注者をはじめ、地元の工事に協力下さった関係各位の皆様のお陰だと心から厚く感謝とお礼を申し上げます。

今回の工事は水田の大区画化、農道の整備、用水路、排水路の整備を行う工事でありました。

施工に際して、気象・現場状況を勘察した現場管理が不可欠でありました。良好な均平度の確保の為、工事区域内の湧水・雨水を排水するために水切り溝を施工し排水を促進し基盤面の軟弱化を防ぎ、基盤及び表土面の均平作業はレーザーブラウ付湿地ブルドーザを使用して均平度を確保しました。

近隣住民への配慮として、工事区域に面した国道・町道に立入防止ロープの設置、安全・注意看板の設置を行い工事区域内立入を防ぎ、町道開削前には工事予告看板及び迂回路看板を設置し、交通誘導員を配置し通過車両を別ルートに誘導し、一般車両や地域住民への安全対策を行いました。

最後になりますが、工事期間中は天候にも恵まれ沢山の皆様に支えて頂き無事故・無災害で工事を完成出来た事に深く感謝します。

雇用改善コーナー

工業系大学生（金沢工業大学）の現場見学感想文

『輪島道路ICT施工現場を見学して感じたこと』

大学院 笹原弘道

輪島道路建設現場に見学に行かせていただいた。事前知識として国交省が建設現場の生産性向上のために測量・設計・施工・管理にいたる全プロセスにおいて、情報化を前提とした技術「i-Construction」を取り入れる動きは知っていたが、現場にてこのような技術がどう生かされているのかは授業の座学では学ぶことのできないものであった。今回拝見させていただいた現場には様々なICT技術を用いており、レーザースキャナーによる起工測量や、排土板やバケットを自動制御する3次元マシンコントロール技術など、どれも現場の生産性向上につながるものばかりで非常に感銘を受けた。しかしながら現場従事者の方にお話を聞くと、まだ感覚やノウハウに頼った作業とこのような情報技術による作業が半々になっており、生産性がどのくらい上がったのかは数値化できない状況にあると伺った。これから社会に出て土木に従事する我々土木学生がこのようなICT土木施工に興味を持ち、知見を深め、現状の土木現場に対し積極的な問題意識を持つことでICT土木施工が一般化されるのではないかと感じた。

『ICTを活用した工事現場を見学して』

工学部環境土木工学科 伊藤健人

輪島道路の施工現場を見学しました。現場では、情報処理やネットワークなどのICTを用いて工事を行っていました。ネットワークを使って、必要となる土量を算出しそのデータをバックホウなどの重機に読み込ませるといった内容だったため、近い将来を担う施工法だと感じました。私は無人で重機が動き、工事を進めていくものだと考えていましたがバックホウの中を見学させていただいたところ作業員の方が遠隔操作から起きる誤差を調整しながら操作し、のり面を固めていました。まだ無人で工事を進めていくことは出来ないため人員削減には至ってませんが、作業員の労力は大幅に軽減できるため、ICTを活用した工事は大いに実用的だと感じました。

『現場を見学して』

工学部環境土木工学科 黒田隼人

ICT施工とは、情報通信技術を用いた施工のことであり、電子情報を活用することで効率と精度の高い施工を実施することが可能だと分かった。ICTを用いて施工を行うことで、効率や精度だけでなく、品質や安全性なども高められると学べた。実際に、ICTを用いてキャタピラー製ブルドーザで高精度かつ自動で土を敷き均す作業を拝見して、情報技術の進歩や可能性に大きな期待を持つことができました。また、VR技術を活用した架設作業中における転落事故の発生する過程を示した映像を見せたことにより、安全性を考慮することは何よりも優先される事項だと改めて分かりました。



工業系高校生（小松工業高等学校）の現場見学感想文

『沢山の努力に感謝しながら利用したいと思います』

建設科 1年 築田行斗

金沢外環状道路の工事現場を見学して、建築と土木では造る手順とスケールが違っていると感じました。建築物は下から順に造っていくが、土木の橋などは、地盤となる橋脚を造る場所もタイミングも違う訳で、授業で習った橋の高さのずれは数ミリだという事が目で見て取れました。私が一番驚いたのは、橋脚一個が一億円もかかっているという事です。地面の中にコンクリートの支柱が埋まっている事を知って、その金額に納得しました。ただコンクリートを流し込むのではなく、鉄筋が埋め込まれて強度を出し、支柱の長さも40m~50mとそれに相応する鉄筋を使っているからです。橋脚工事には沢山の努力があり、その事を忘れずに感謝しながら利用していこうと思いました。



『地震や液状化対策がしっかり行なわれており安心しました』

建設科 1年 山本響花

金沢外環状道路工事の現場を見学して一番驚いた事は、道路を1m造るだけで1300万円も経費がかかるという事です。また、橋脚の下には、何本も杭が打ってあり、地震や液状化対策がしっかりとしてある事が分かり、安心できると思いました。そして、その橋脚の下に入れる杭を現場で穴を掘って造っているという事を知り驚きました。その他にも、橋脚の工事では、川の内側だと6月から9月までの期間、安全のため作業が出来ないと決まっています大変だと思いました。道路が出来るのを早く見たいと思いました。

『道路の重要性を改めて感じました』

建設科 1年 納谷凌平

金沢外環状道路の工事現場を見て、道路工事がとても都市圏の構成に重要な役割を担っていると感じました。数m間隔で橋脚が並んでいる光景は、余り見たことがなかったので、少し興奮しました。川の上に道路を通す事の大変さも、良く分かったような気がします。地盤の状況に応じて、杭を打ち込む事を聞いた時、何十mもの杭を打ち込むのはとても大変だろうと思いました。現場の方から、杭は、穴を掘って、鉄筋の籠を入れ、コンクリートを流し込んで造ることを聞き、その様に作業を行う事で効率が良いのかもしれないと思いました。

『「現場は安全第一」ということを感じました』

建設科 1年 北浦滉太

県央土木総合事務所等移転整備工事の現場を見学して、一番印象に残った事は、「安全第一」という四字です。現場の所々にこの「安全第一」が見かけられました。やはり建設業は、一番に安全を確認することが大切だということを改めて感じました。私も、日頃から自分の安全を考え、行動できるように学校生活、

特に実習で、行ってみたいと思いました。また、ドローンの空撮や鉄骨の建て方などを詳しい説明を聞き、現場を見ることで、多くの知識を増やすことができ大変良かったです。

『建築の難しさを知りました』

建設科 1年 清水真凌

県央土木総合事務所等移転整備工事の見学で、実際の現場で働いている人を見て、とても格好良く、一人一人が一生懸命に働いているという事が分かりました。そして、建築はとても難しいことだと改めて知りました。日の光や日射の調整のため、南側・北側にガラスウォールを使ったり、PC板を使ったりとその特徴に合った設計を考えて、造られていることが分かりました。また壁はPCa工法と言って工場で造ることで製品の品質や工期の簡略化が出来ると聞き、とてもメリットが大きいと思いました。

『工事現場では多くの人達がそれぞれの役割を果たしていることが分かりました』

建設科 1年 高畠大知

県央土木総合事務所等移転整備工事現場の見学で分かった事や気づいた事が3つあります。1つ目は、建物をどのように造れば、利用者にとって便利であるか、ストレスを受けないかなどいろいろな点を考慮しているということ。

2つ目は、女性用と男性用でトイレを分けており、現場で働く人達へのストレスの解消を行っていて、どこの現場でも取入れてほしいと思いました。

3つ目は、現場の中では、鉄骨を建てる人や溶接を行う人、外壁のPCaの工事をする人など沢山の職種の人が、色々な役割を果たしている事が分かりました。



不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度
自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20
中屋三井ビル2F

地元建設業界の景気

～建設業景況調査 石川県版 平成30年度第2回より～

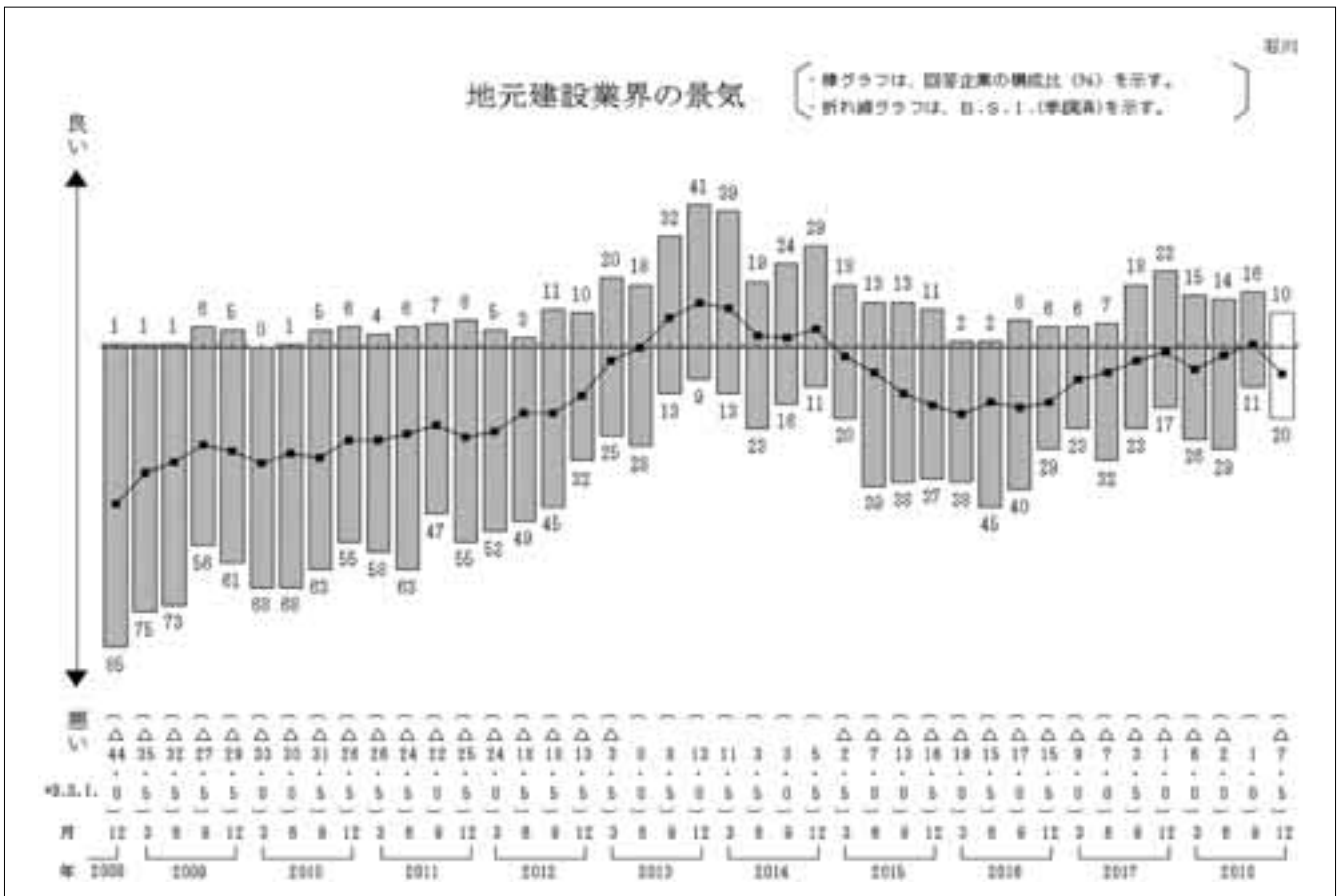
東日本建設業保証(株) 石川支店

今 期	良い傾向に転じている。
	不変とする企業が7割強を占め、基調は変わらないものの B.S.I.値は1.0(前期 2.0)となっており、「良い」傾向に転じている。 「良い」傾向となったのは、平成26年12月以来、15期ぶり。

「今期」：平成30年7月～9月 実績

来 期	悪い傾向に転じる見通し。
	不変とする企業が7割を占め、基調は変わらないものの B.S.I.値は 7.5(今期1.0)となっており、「悪い」傾向に転じる見通し。

「来期」：平成30年10月～12月 見通し



【B.S.I.の見方】

B.S.I.(ビジネス・サーベイ・インデックス=景況判断指数)は、「良い」「悪い」など意識調査の回答数の構成比から全体の趨勢を判断するものです。

以下の計算式により数値化して求められます。

$$\frac{(\text{「良い」と回答した企業割合} - \text{「悪い」と回答した企業割合}) \times 1/2}{}$$

「変わらず」は除いて計算

「地元建設業界の景気」等の季節変動の影響を受ける指標は、季節調整値を表示しています。

地区協会コーナー

北陸新幹線敦賀延伸工事を間近に見て

(一社)加賀建設業協会



加賀建設業協会は、昭和25年頃に組合としてできた江沼建設業協会を起源として、その後の町村合併や山中など江沼地区を含めた折に改称を重ね、昭和39年に加賀江沼建設業協同組合となりました。その後、社団法人としての期間を経て、平成25年に現在の(一社)加賀建設業協会へ移行しました。昭和48年に建てられた現在の建設業会館も築45年が過ぎ多少傷みが見受けられますが、協会員35社を支える拠点としての役割をしっかりと果たしてくれています。

建物北側の正面玄関に入って反対の南側の窓を開ければ、建物間近にJR西日本北陸本線が東西に走り、次いで一面の田園風景が広がって奥の国道8号を挟んで山間部へと景色が繋がっています。白い冬景色が終わると、春には水田一面に日光が反射し、田植後には緑の絨毯が日増しに背丈を伸ばし、やがて実りの秋となって黄金色の稲穂をなびかせます。

1年を通じて自然の遷り変りと人の営みを眺めることができ、多忙な中で心が癒されます。



この辺りの水田は7haほどあり、1戸の農家が夫婦で耕作し、トラクターやコンバインも中規模以上で比較的新しく省力型の経営ができていのように感じます。新幹線整備に農地を提供されている訳ですが、道路整備の場合と同様、不特定多数の人が自由に行き来するために必要なインフラと理解し協力されたものと思います。

整備工事により、多少、田の三角部分が増えたり高架橋の日陰の作柄が落ちるとの声もありますが、農家の方の心意気に頭が下がる思いです。



右の写真は今年10月中旬に撮ったものです。

加賀市内の7工区の中でも、当初は最も進捗が遅れているように感じられましたが、春以降は急ピッチで工事が進められています。

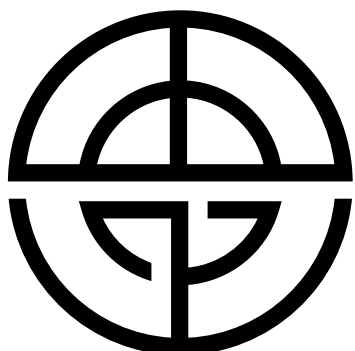
熱中症の警戒が叫ばれる中、今年は大雨や台風等の自然災害も多く、その度にクレーンが降ろされており、安全管理の徹底に大変気を配られていることが見て取れました。

日一日と工事が進む中、やがて加賀市内を疾風する「かがやき」を当会館屋上から見るのできるその日を心待ちにする毎日です。



会員リレーコーナー

179 田上建設株式会社
(所在地：金沢市田上本町テ30)



社章

今年度より石川県建設業協会に入会させていただきました。これから協会員として、なお一層地域発展のために努力してまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

当社は、昭和29年(1954年)に、父が個人で田上建設を設立いたしました。当初から金沢市を中心に公共工事、民間の土木工事を主業務とし、「地元、地域に根を張り、皆様に貢献出来る企業を目指すんだ」とよく話しをしておりました。

私はいずれ事業を引き継ぐことを念頭に昭和57年に入社しました。当時は、地元地域に大きな公共事業はなく、道路の災害復旧、農地整備、水路工事等少額の工事が多く、経営は大変だったことを思い出します。昭和63年に田上建設株式会社へと陣容を整え、年号が平成に変わったころから風向きが少しずつ変わり始めました。国、県、市の大事業である環状道路が動き出し、これに絡んで地元の田上地区で区画整理事業がスタートしたのです。その造成工事に関わることで、ようやく当



社屋

社は安定した業績を上げられるようになりました。

私が生まれ育った田上地区は、かつて一面が田んぼで、道路も狭く車がすれ違うのも厄介なところでした。それが区画整理の進捗で、上下水道、道路、公園が整備され住み易さが格段に上昇いたしました。宅地の販売に伴い多くの若い世代が住み始め、遊ぶ子どもたちの姿が日常的に見られるようになりました。町全体の雰囲気も明るく元気になりました。

このような地域の整備事業に関わることができ、私はもちろん今は亡き父も、大いに喜んでくれていると思います。

働き方改革、担い手不足と言われる昨今であり、当社を取り巻く環境も厳しさを増していることに間違いはありませんが、創業者の意思を忘れず、これからも地元地域のために渾身の努力をかたむけて行くとともに、建設業界の発展にも微力ながら貢献していきたいと思う次第です。

今回は(株)津幡工業 代表取締役 村谷哲也さんにバトンをお渡ししますので、よろしくお願いいたします。

(田上建設株式会社 代表取締役 田上淳一)

今月の「輝き！」さん

No. 44



宏州建設株式会社 芦原啓太さん

業 種：現場監督
 経験年数：5年
 年 齢：25歳

金沢市駅西本町1丁目の宏州建設(株)の本社に今月の輝きさんの芦原啓太さんを訪ねました。

- 最初にあなたの会社について教えてください。

私の勤務する宏州建設株式会社は、昭和38年1月に設立され、グループ企業であるコーワ商事と共に建築、住宅、リフォーム、不動産の4つの事業を手掛ける総合建設業の会社です。私は、建築部・設計部に所属し、一般住宅建築の現場監督をしています。

- あなたの経歴とこの会社への入社動機について教えてください。

私は金沢市で生まれ、地元の小学校、中学校を経て津幡町にある石川工業高等専門学校の建築学科に入学しました。子供のころから何となく住宅建築に興味があったことから工業系の学校を選びました。入社動機は、もともと地元の企業で働きたいと思っていたことでもあります。5年生のときの就職説明会で今の会社を知り、事業内容から自分が学んできたことを十分に生かせる会社だと思い入社を決めました。

- 現在担当している仕事は？

会社は、大型建築や公共建築も手がけていますが、私は現在、一般住宅部門を担当しており、現場監督として毎日それぞれの現場を飛び回っています。

- 心に残った現場・苦労したことはありますか？

これまでに担当した住宅にはすべて思い入れがあります。これからも、一棟一棟お客様の要望にしっかり応え満足していただける仕事に心がけたいと思っています。苦労と言えば、やはり仕事の段取りです。関係する職人さん方としっかり連携し工期内に物件を完成させることを常に考えています。物件の引き渡しが無事完了しお客様から感謝と労いのことばをいただいたときは、この仕事を選んで本当に良かったと思います。

- 休日はどうすごしていますか？

学生時代は、休日もアルバイトをしていたので、自分の時間は余りありませんでした。今も、1級建築士試験合格を目指して専門学校に通っています。まだ若いし色々やりたいことはありますが今は我慢です。

- 最後に将来の夢、目標は？

当面の目標は1級建築士試験に合格することです。私は、お客様と接することが好きですし、お客様の要望にしっかり応え満足いただける住宅づくりを目標としていますので、将来もずっと住宅建築という仕事に携わっていたいと思っています。



けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

協会だより

常任理事会の開催

(一社)石川県建設業協会(会長 吉光武志)は10月3日(水)午後2時から石川県建設総合センター特別会議室において常任理事会を開催した。会に先立ち、石川県警察本部交通部交通企画課 西村 泉 課長補佐から、「交通事故の発生状況と交通事故防止について」と題する講演をいただき、交通死亡事故の特徴や事故防止のための危険予測能力の向上等について認識を新たにした。

引き続き、常任理事会が開催され、冒頭、吉光会長は、「今般の7月豪雨災害をはじめ全国で災害が多発しており、県内でも七尾市や中能登地域で河川の氾濫等で被害が出た。国でも、災害復興をはじめ、自然災害リスクの低減や国土強靱化を推進するための大型補正予算が編成されることになると思うが、地域の社会資本整備や維持管理、災害対応を担う建設業協会としても、働き方改革・生産性向上への取組みを加速させ、担い手を確保・育成し、その社会的使命を果たすため健全で安定した経営を確保する必要がある」と挨拶された。続いて次の議題について審議・報告がなされた。

1. 石川県30年度9月補正について
2. 北陸建設業協会地域懇談会について
3. 30年度地震・津波を想定した県土木部防災訓練について
4. 建設業をめぐる最近の話題について
5. 会員受注高調べについて
6. 今後の主な日程について
7. 地区協会からの報告について
8. その他



佐藤信秋参議院議員国政報告会並びに意見交換会の開催

(一社)石川県建設業協会・石川県建設産業連合会(会長 吉光武志)は、10月17日(水)正午から石川県建設総合センター6階特別会議室において、佐藤信秋参議院議員をお迎えし、国政報告会並びに協会役員及び建産連会員との意見交換会を開催した。佐藤議員は、冒頭、国土強靱化と地方再生のための諸課題にこれからもスピード感をもって取り組みたいと挨拶され、続いて、平成26年に一部改正された品確法の改正のポイントや建設産業の新3K(給与が良い、休日がとれる、希望が持てる)実現など、建設産業を魅力ある職場にするために自身が取り組んでおられる活動等について説明をいただいた。国政報告並びに意見交換は、昼食を挟み和やかな雰囲気の中で行われた。



(一社)石川県建設業協会 第40回 懇親ゴルフ大会の開催

平成30年度(一社)石川県建設業協会第40回懇親ゴルフ大会は、10月5日(金)宝達志水町の能登カントリークラブ 日本海・はまなすコースにおいて開催された。

当日は、県内各地域から85名のプレイヤーが参加し、心配された台風25号の影響もなく晴天のすがすがしい秋空のもと白熱のプレイを展開した。

プレイ終了後はクラブハウス内で、吉光武志協会長の挨拶及び乾杯の音頭で懇親会が開催され、引き続き成績発表・表彰伝達が執り行われた。懇親会参加者は和気あいあいのうちに相互の親睦を深め、その後、小倉 淳協会副会長のメの挨拶で閉会となった。なお、大会成績については次の通り。



大会スタートの協会役員

大会成績

			グロス	ハンデ	ネット
一般の部	優勝	中山 泰夫(高田組)	89	19.2	69.8
	2位	細川外茂治(ほそ川建設)	90	19.2	70.8
	3位	金子 正(北川ヒューテック)	88	16.8	71.2
シニアの部	優勝	山本 重雄(東南建設)	83	10.8	72.2
	2位	二木 孝則(ピーエス三菱)	94	21.6	72.4
	3位	上野 吉夫(上野組)	97	24.0	73.0
ベストグロス賞	1位	田上 淳一(田上建設)	79		
	2位	西島 義浩(西島組)	82		
	3位	山本 重雄(東南建設)	83		



吉光武志協会長の開会挨拶



一般の部優勝挨拶の中山泰夫氏(高田組)



小倉 淳 副会長の閉会挨拶

石川県土木部防災訓練への参加

平成30年度石川県土木部防災訓練が、10月18日(木)午前7時から県内一円で実施された。訓練は、珠洲市と能登町で震度6弱、他の市町でも震度6強の地震が起き津波が発生したとの想定に基づき行われ、県庁内に土木部災害対策室が設置されるとともに、出先事務所や関係機関から道路、河川などの被災情報を収集するなど、災害発生時の初動体制の確保と情報伝達の手順を確認した。当協会並びに各地区建設業協会(組合)では、災害時における応援協定に基づき、被災状況の確認及び報告並びに道路啓開訓練を実施した。



協会員による被災状況確認((一社)金沢建設業協会)

委員会の開催

土木委員会

工事現地検討会班長会議（前期）の開催

土木委員会安全対策部会（部会長 林 登良夫）は、去る10月9日（火）に石川県建設総合センター会議室において、安全対策部会の正副部会長と工事現地検討会班長による会議を開催した。この班長会議は、11月上旬に実施する「平成30年度工事現地検討会」に向けての関係機関等との調整や対応すべき事項について、事務局から説明のあと審議が行われ、閉会した。

主な議題内容・審議事項は以下のとおり。

班長の任命

・安全対策正副部会長会議（9月28日開催）で推薦をされた各班長を部会長が任命した。

工事現地検討会の実施日について

・南加賀班、白山野々市班、県央班、中能登班の実施日を11月6日（火）、奥能登班の実施日を11月8日（木）に決定した。

工事現地検討会の各班構成員選出について

・各班構成員を選出し、了承した。

工事現地検討会の実施要領について

・班長の役割、対象工事の選定方法、関係機関との調整など、工事現地検討会実施に向けての必要事項を確認した。

実施に向けてのスケジュールについて

・工事現地検討会の実施に向けて、対応すべきスケジュール内容を確認した。

班長会議（後期）の開催日程について

・12月7日（金）に班長会議（後期）を開催することとした。



総務部会・懇話会合同会議の開催

土木委員会（委員長 竹腰勇ノ介）は、10月11日（木）に石川県建設総合センター会議室において、正副委員長と副部会長及び総務部会員、懇話会座長、懇話会副座長、懇話会委員を構成メンバーとした合同会議を開催した。

この会議では、8月20日から29日に実施した「各地区協会と県協会土木委員会との意見交換会」の場で発言された、建設工事等に関する意見要望について、入札契約関係や総合評価関係、設計積算関係、施工計画関係、監督検査関係、改正品確法等の項目毎に課題抽出を行った。また、現場視察と研修会（海外）の合同開催について、視察行程内容や費用等の確認を行い散会した。



役員会・懇話会（座長・副座長・世話役）合同会議の開催

土木委員会（委員長 竹腰勇ノ介）は、10月23日（火）に役員会と懇話会（座長・副座長・世話役）の合同会議をKKRホテル金沢において開催した。今回は11月29日（木）に行う「石川県土木部との意見交換会」の提案課題について審議を行うものである。会議では、8月下旬に実施した「各地区協会と土木委員会との意見交換会」で提案のあった建設工事等に関する課題についてテーマ毎に審議を行い、12課題を意見交換会の提案課題として選定した。また、これから年度末に向けて計画されている各種行事の開催日程について、確認及び調整を行い散会した。

【今後計画されている主な行事の開催日程】

工事現地検討会

開催日：平成30年11月6日（火）～8日（木）

石川県土木部との意見交換会

開催日：平成30年11月29日（木）

工事現地検討会班長会議（後期）

開催日：平成30年12月7日（金）

新年会

開催日：平成31年1月25日（金）

金沢河川国道事務所との意見交換会



開催日：平成31年2月1日(金)
 現場視察・研修会
 開催日：平成31年3月6日(水)～10日(日)

親睦ゴルフコンペの開催

土木委員会(委員長 竹腰勇ノ介)の親睦ゴルフコンペが、10月31日(水)に片山津ゴルフ倶楽部で開催された。

今年は秋季の開催のため秋晴れを期待しましたが、スタート時はあいにくの小雨模様となったものの、その後は天候に恵まれ、時より太陽の日差しを浴びながら白熱したプレーが繰り広げられた。プレー終了後は、倶楽部ハウス内で表彰式を行った。

結果は以下のとおり。

成績		GROSS	HDCP	NET
・優勝	西島義浩((株)西島組)	83	12.0	71.0
・準優勝	田中志人(白山建設(株))	97	25.2	71.8
・3位	島田和久(加州建設(株))	96	22.8	73.2
・ベストグロス賞	西島義浩((株)西島組)	83		

次回コンペも今回同様、多数の参加をお待ちしています。(事務局)



建築委員会

加賀地域合同建築委員会の開催

建築委員会(委員長 橋本和雄)は、10月10日(水)に、(一社)加賀建設業協会にて、加賀地域合同建築委員会を開催した。県土木部の畝本秀一参事、竹内正人次長、熊田康也営繕課長、三谷浩二郎建築住宅課長の4名を迎えて、加賀地区の各建設業協会の建築部会員(36名)と県建設業協会の役員(12名)の計52名による意見交換会となった。

県協会の橋本委員長、県の畝本参事、加賀協会の今井剛建築委員長の挨拶の後、県当局より、今年度の県発注建築工事の方針及び建築住宅行政・営繕工事等の説明を受けた。

引き続き、各地区協会より県発注者に対し、次の様な議題を提案した。

- 1) 工期の設定について
- 2) 提出書類について
- 3) 入札参加者について
- 4) 働き方改革関連法に伴う公共工事への支援について
- 5) 改修工事等における少量数量工事の単価設定について
- 6) 予定価格の表示に合わせて直接工事費、共通仮設費、現場経費、一般管理費の表示について
- 7) 福利厚生費の設計内訳書への表示について
- 8) 工事制限事項の表示および制限変更に伴う設計変更について
- 9) 下請業者の選定に県外業者の緩和について
- 10) 発注時期、準備期間の配慮について
- 11) 入札時の単抜きの取扱いについて
- 12) 改修工事の工程について

これらの提案・要望に、県担当者よりそれぞれ詳細な回答を頂き、和やかに意見交換を終え、長坂知通副委員長の挨拶で閉会となった。



能登地域合同建築委員会の開催

建築委員会(委員長 橋本和雄)は、10月22日(月)に、(一社)七尾鹿島建設業協会にて、能登地域合同建築委員会を開催した。県土木部の畝本秀一参事、竹内正人次長、熊田康也営繕課長を迎えて、能登地区の各建設業協会の建築部会員(25名)と県建設業協会の役員(11名)の計39名による、意見交換会となった。

県協会の岡昌弘建築副委員長・県の畝本参事・七尾鹿島協会の若狭充建築委員長の挨拶の後、県より、今年度の建築住宅行政・営繕工事等について説明を受け、建築基準法の改正、耐震改修工事の補助制度、H30年度の主な営繕工事、営繕工事における注意点等が明らかにされた。

引き続き、各地区協会より県発注者に対し、次の様な議題を提案した。

- 1) 現場監督員及び職人の確保について



- 2) 入札時の内訳書提出について
- 3) 各種検査費用及び荷揚げステージ費用の明確化について
- 4) 建築工事における労働環境の改善について
- 5) 能登地域における受注機会の拡大について
- 6) 企業年金への加入業者に対する評価対象拡大について
- 7) 「入札時積算数量書活用方式」の導入について
- 8) ワンデーレスポンスへの取り組みについて
- 9) 働き方改革への県の対応について

これらの提案・要望に、県担当者よりそれぞれ詳細な回答を頂き、和やかに意見交換を終え、長坂知通副委員長長の挨拶で閉会となった。

北陸地方整備局営繕部との建築工事懇談会の開催

建築委員会（委員長 橋本和雄）は10月30日（火）ホテル日航金沢で北陸地方整備局営繕部（営繕部長 山田 稔）と建築工事懇談会を開催した。整備局側からは山田営繕部長ら6名、建築委員会からは橋本委員長ら12名の参加で営繕工事における諸問題を意見交換した。

冒頭、山田営繕部長から、「生産性向上や担い手確保、週休2日制など様々な課題があり地方の生の声を聞き、共通の認識を持つことが必要。」と挨拶があり、引き続き橋本委員長が「生産性向上、担い手確保、女性活躍の推進や4週8休などに取り組んでいるが建築工事が潤沢にある今が改革のチャンスである。」と挨拶した。

最初に整備局側から 営繕工事における働き方改革の取組について 営繕工事における積算関係の取組について 工事関係図書等に関する効率化について、情報提供があった。県協会建築委員会からの 調査基準価格の上限値撤廃について 建設業における働き方改革等について 現場作成資料の軽減について 総合評価落札方式について 鉄骨工事の納期について 週休2日工事についてなどを現場の生の声を交えて要望した。これに対し、整備局側から丁寧な回答があった。発注者側、受注者側の本音の部分をぶつけ合った有意義な懇談会となり、今後も継続的に開催を続けていくことを確認し、岡副委員長長の挨拶で懇談会を閉会した。



土地改良委員会

家畜伝染病防疫訓練

石川県主催（（公社）石川県畜産協会共催）の家畜伝染病防疫訓練は、高病原性鳥インフルエンザ及び口蹄疫が発生した際に、迅速かつ的確な防疫対応を行うための訓練で、当協会土地改良委員会は、平成23年5月に県と「口蹄疫等の発生時における緊急対策に関する基本協定」を締結している。

10月4日（木）午後1時から訓練が開始され、宝達志水町産業センター「ネクサス」及び石川県農林総合研究センター畜産試験場・旧押水放牧場跡地を訓練会場に、畜産関係団体、畜産農家、北陸農政局、自衛隊、県、市町など防疫従事者と視察者を合わせ約150名が参加した。

本年度の訓練は、旧押水放牧場跡地にある牛舎を高病原性鳥インフルエンザ発生農場とみなし、宝達志水町「ネクサス」に集合した防疫従事者約30名が、健康調査を受け防護服を着衣して発生農場へバスで移動し、農場の消毒、生きた鶏を使用した模擬の殺処分、ダミーの処分鶏の埋却など実践さながらの訓練を行った。

当建設業協会からは、基本協定締結の会員企業（真柄建設（株））を含め3名が参加し、防疫従事者が行う集合から防疫措置の殺処分・埋設作業等の一連の作業の説明を受け、手順や留意点等の確認を行った。

訓練の状況



生きた鶏を使用した捕獲訓練



埋設処分

技術検討部会の開催

平成30年度第1回目の土地改良委員会技術検討部会（部会長 小柳 誠）が、10月11日（木）に石川県建設総合センター401会議室で開催された。石川県から農林水産部技術管理室長の北出一郎氏のご臨席をいただき、小柳 誠部会長以下15名の幹事及び事務局1名の出席のもと開催され次の議題を審議した。

- 1 平成30年度の事業計画について

北陸農政局長及び県農林水産部長等への要望、第2回技術検討部会、農林水産部との意見交換会、

土地改良委員会全体会議の各事業の内容等について検討した。

特に、技術検討部会主催の県農林水産部との意見交換会については、議事となる県への要望や質問事項等の提出内容、期限の再確認を行った。また、事前開催し要望等を取りまとめる第2回技術検討部会についても、開催時期等を含め入念に打合せを行った。

2 その他の情報提供について

北出室長より、10月1日からの工事に適用された「いしかわ土日おやすみモデル工事」について実施要領に基づき、対象工事及び費用並びに評定等について説明をいただき、その後意見交換を行い閉会した。

第2回役員会の開催

平成30年度第2回目の土地改良委員会役員会(委員長 真柄卓司)は、10月19日(金)に石川県建設総合センター401会議室において開催された。役員会は委員長以下12名の役員及び事務局1名の出席のもと開催され、冒頭に委員長の挨拶で始まり次の議題を審議した。

1 平成30年度の事業計画について

北陸農政局長及び県農林水産部長等への要望については、提案書(素案)の内容の説明、審議を行い、11月の北陸農政局長への要望活動を皮切りに、県農林水産部長、国営事業所、各農林総合事務所へ伺うこととした。

その他の事業計画については、技術検討部会主催の県農林水産部との意見交換会の開催時期(2月上旬)等の報告がされ、土地改良委員会全体会議については、内容等全般について再確認を行い、例年と同様に3月下旬に開催することとした。

2 その他事業実施報告及び予算について

これまでに開催した主な事業、「北陸農政局長への施策提案(7月19日)」、「北陸農政局長及び次長着任表敬訪問(9月5日)」等の状況報告を行い、最後に、県の補正予算や8月31日公表の国概算要求について、来年度新規事業として「国営総合農地防災事業 河北潟周辺地区」が示されたこと等の報告を行い閉会した。



広報・研修委員会

企画部会の開催

企画部会(部会長 高田直人)は、10月22日(月)午前10時30分から、石川県建設総合センター会議室において開催された。冒頭高田部会長の開会の挨拶が行われた後、引き続き下記議題について次の通り審議・報告を行った。

- 1 協会報11月号について
事務局説明の編集計画が承認された。
- 2 研修所からのお知らせ
 - ・2級土木施工管理技術検定(学科・実地)受験準備講習開催結果
 - ・建設業経営講習会開催
 について報告された。



経営者・管理者のためのICT講習会の開催

広報・研修委員会(委員長 高田直人)は、10月30日(火)午後2時から石川県建設総合センター401会議室にて経営者・管理者のためのICT講習会を開催した。

国土交通省を初め石川県においても取組みが拡大しているi-Constructionについて下記内容にてご講演を頂いた。

石川県におけるICTの現状と方向性 14:00~14:30

石川県土木部技術管理室長 宮田政佳 氏

i-Constructionの最新動向~3次元への対応と有効活用~ 14:30~15:40

福井コンピュータ(株) 野坂大介 氏



受講者からは、コスト面や技術面等の質問が行われ、i-Construction導入に向けての有意義な講習会となった。

建設青年委員会

いしかわのこどもみらいキャンペーン「はだしの王国」に参加

建設青年委員会（委員長 北川隆明）は、建設業をPRする全国建設青年会議の「全国建設青年の日」の活動として、石川県土木部と共同で10月8日（月）奥卯辰山健民公園で開催された「はだしの王国」に参加した。

「目指せ！土木・建築エンジニア」と題し、土木に関するクイズや重機試乗体験・ラジコン除雪体験、ミニ建機試乗体験等を行い子供たちに建設業の楽しさや面白さを体験してもらった。

重機試乗体験コーナーでは、小型のホイールローダーを1台展示し、子供たちにヘルメットを被って試乗してもらい、記念撮影を行った。

また、ラジコン除雪体験コーナーでは、バックホー・ダンプトラック・ブルドーザーのラジコン3台を用意し、プラスチックビーズを雪に見立て、除雪体験を行った。

ミニ建機試乗体験コーナーでは、子供たちにミニバックホーを操作してもらい水槽に浮かぶスーパーボールをすくってもらった。

そのほか、建設業に関するクイズや実験も行い、解答してくれた子供たちにプレゼントを渡した。

当日は天候にも恵まれ、建設業のブースには多くの子供たちや家族連れが訪れ、皆楽しそうに見学や体験をし、建設業に対する認識を新たに深めた様子だった。



建設技術研修所

「2級土木施工管理技術検定試験（学科・実地） 受験準備講習」の開催結果

2級土木施工管理技術検定試験（学科・実地）受験準備講習を、下記日程のとおり石川県建設総合センターにて開催した。受講者は9名で、アンケートの結果では「大変わかりやすい講習だった。」などと高評価をいただき大変有意義な講習となった。



2級土木施工管理技術検定試験（学科・実地）受験準備講習日程

日時・会場		科目	講師	勤務先
9月10日(月)	9:30～12:30	施工計画	清水 芳典	技術士、コンクリート診断士
	13:30～16:30	建設機械		
9月14日(金)	9:30～12:30	一般土木	森 光明	森技術士・ 安全コンサルタント事務所
	13:30～16:30			
9月25日(火)	9:30～12:30	法規 建設業法	森 光明	森技術士・ 安全コンサルタント事務所
	13:30～16:30	安全管理		

日 時・会 場		科 目	講 師	勤 務 先
9月26日(水)	9:30~12:30	品質管理	中野 哲朗	技術士、コンクリート診断士
	13:30~15:00	専門土木 河川・海岸	浦 良一	沢田工業(株) 取締役技術部長 元石川県参事(河川・港湾プロジェクト担当)
	15:00~16:30	専門土木 鉄道	西村 光	技術士・元JR コンサルタント 北陸支店長
10月4日(木)	9:30~12:30	工程管理	森 光明	森技術士・ 安全コンサルタント事務所
	13:30~16:30	演 習		
10月5日(金)	9:30~12:30	実 地	森 光明	森技術士・ 安全コンサルタント事務所
	13:30~16:30			

「登録解体工事講習会 金沢会場」の開催

登録解体工事講習会(金沢会場)を、10月23日(火)12時20分より石川県建設総合センター7階大ホールにおいて開催した。

この講習会は、平成28年6月1日より改正建設業法が施行され建設業許可の業種区分として「解体工事業」が新設されたことにより、平成28年5月31日以前は「とび・土木工事業」の許可で「解体工事」を施工していたものが、今後は、原則「解体工事業」の許可を取得した企業が施工することとなった。

上記改正に伴い、「解体工事」に係る営業所専任技術者、監理技術者又は主任技術者の資格要件が建設業法施行規則等で定められ、解体工事の営業所専任技術者、監理技術者又は主任技術者となるためには、「登録解体工事講習」の受講又は解体工事に係る実務経験が必要となることから、一般財団法人全国建設研修センターの協賛で実施している。本年度は158名が講習を受講し、受講者全員に修了証が交付された。



建設業経営講習会の開催案内

建設業経営講習会を東日本建設業保証(株)、石川県土木施工管理技士会との共催で、下記のとおり開催いたします。

日 時	平成30年11月26日(月) 13:30~16:30
場 所	石川県建設総合センター 5階 第1研修室 (金沢市弥生2丁目1番23号 TEL:076-242-1161)
演 題	若手技術者のための原価管理基礎セミナー ~利益を確保するために何をすべきか~
講 師	(株)建設経営サービス 黒岡 茂雄 氏
主な対象者	若手現場技術者
受 講 料	無料
締め切り	11月16日(金)
その他講習概要	CPDS、CPD 対象予定(3ユニット申請中)

講習の概要	主な項目
現場の原価管理では、品質・工程・安全を確保しながら適正な利益を確保しなければなりません。本講習会では実行予算の作成手法や、日常の原価管理の基である日報の取扱いをはじめ、原価管理手法の取得の講習を行います。特に実行予算の作成では、基本的な手作業による作成方法の演習を行い施工歩掛りの重要性を理解していただきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・原価管理の目的及び重要性とそのしくみ ・原価管理能力をアップするためにやるべきこと ・実行予算の目的、その作成方法と管理のポイント ・実行予算と工程管理 ・利益を確保するために何をすべきか

【お申込み・お問合せ先】

(一社)石川県建設業協会 建設技術研修所 担当:本多

TEL:(076)242 1161 FAX:(076)241 9258 E-mail:honda@ishikenkyo.or.jp

業界時報

労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（平成30年分）

平成30年9月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	5	(11)31	18	(11)54	(7)52	524
小松監督署	12	(6)9		(6)21	(4)16	205
七尾監督署	3	(5)6	8	(5)17	(3)15	93
穴水監督署	2	(6)7		(6)9	(5)12	46
計	22	(28)53	26	(28)101	(19)95	868
前年同期	19	(19)54	22	(19)95	(19)95	750

()内は木建工事 内は死亡者数

平成30年度 建設工事受注高調（元請）

民間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%
7月分	240	618	38.8%	1,832	2,035	90.0%	2,072	2,653	78.1%
8月分	429	397	108.1%	1,850	2,860	64.7%	2,279	3,257	70.0%
9月分	218	369	59.1%	3,504	3,213	109.1%	3,722	3,582	103.9%
年度累計	1,802	2,952	61.0%	15,190	18,552	81.9%	16,992	21,504	79.0%
28年度累計		2,695	66.9%		11,491	132.2%		14,186	119.8%
27年度累計		1,765	102.1%		17,614	86.2%		19,379	87.7%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%	30年度	29年度	%
7月分	5,147	5,128	100.4%	610	1,244	49.0%	5,757	6,372	90.3%
8月分	3,699	3,484	106.2%	1,299	1,481	87.7%	4,998	4,965	100.7%
9月分	5,080	5,259	96.6%	2,683	999	268.6%	7,763	6,258	124.0%
年度累計	21,099	18,564	113.7%	6,978	6,385	109.3%	28,077	24,949	112.5%
28年度累計		27,508	76.7%		9,622	72.5%		37,130	75.6%
27年度累計		22,973	91.8%		8,551	81.6%		31,524	89.1%

合 計（民間 + 官公庁）

	30年度	29年度	%
7月分	7,829	9,025	86.7%
8月分	7,277	8,222	88.5%
9月分	11,485	9,840	116.7%

	30年度	29年度	%
年度累計	45,069	46,453	97.0%
28年度累計		51,316	87.8%
27年度累計		50,903	88.5%

会員消息

今月は届出はありませんでした。なお、変更等があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

平成30年11月行事予定

- 11月 1日(木) 全国建設労働問題連絡協議会(全建)
(東京 鉄鋼会館)
- 石川県商工会連合会 大会 (金沢流通会館)
- 2日(金) 正副会長会議
- 6日(火) 土木委員会 工事現地検討会
(南加賀、白山野々市、県央、中能登)
- 7日(水) 市町要望 (河北地区)
建設キャリアアップシステム説明会
(金沢市ものづくり会館)
- 建設業法令遵守に関する講習会
(金沢市ものづくり会館)
- 地区協会打合せ(羽咋工業高校意見交換会)
(羽咋都市建設業協会)
- 石川県産業教育振興会 研究協議会
(石川県地場産業振興センター)
- 8日(木) 土木委員会 工事現地検討会
(奥能登(輪島・珠洲))
- 建築委員会 住宅部会研修 (小松市内)
- 平成30年暴力団追放石川県民大会
(こまつ芸術劇場うらら)
- 9日(金) 建設青年委員会 講演会(建山氏)(ホテル金沢)
- 13日(火) 登録解体工事講習会(能登会場)
(奥能登総合事務所41会議室)
- 全国建産連 専門工事業委員会
(東京 建設業振興基金)
- 14日(水) 土地改良委員会 施策提案(北陸農政局(広坂))
- 15日(木) 建築委員会 加賀地区安全パトロール
(小松特別支援学校)
- 石川県土木施工管理技士会 現場研修会
(金沢市内(金沢港、月浦トンネル))
- 中部・北陸ブロック事務担当者会議「建退共」
(福井 ユアーズホテルフクイ)
- 石川県生コンクリート工業組合 設立40周年記念式典
(ホテル日航金沢)
- 16日(金) 会報編集委員会
ドローン講習会
金沢市立工業高校(建築)意見交換会
(金沢市立工業高校)
- 17日(土) ドローン講習会 (金沢市七曲)
第2回女性のつどい (金沢ニューグランドホテル)
- 18日(日) 金沢港クルーズターミナル建設工事安全祈願祭・起工式
(金沢みなと会館前)
- 19日(月) 全建 技術研究発表会 (東京 鉄鋼会館)
平成30年度保証事業石川協議会定例会・懇談会
(KKRホテル金沢)
- 白山野々市建設業 暴力団等排除推進会議研修会
(グランドホテル白山)
- 20日(火) 全建 全国会長会議 (東京 経団連会館)
- 21日(水) 市町要望 (能登地区)
人権シリーズ講座 (石川県庁)
石川県景観審議会計画部会 (石川県庁)
- 22日(木) 市町要望 (能登地区)
広報・研修委員会 企画部会
人材確保対策推進協議会 (金沢駅西合同庁舎)

- 26日(月) 経営講習会
- 27日(火) 土地改良委員会 施策提案
(県庁、手取川事業所、西北陸)
- 28日(水) 土地改良委員会 施策提案
(奥能登農林、中能登農林)
- 全建協連 専務・事務局長会議
(東京 東海大学校友会館)
- 29日(木) 土木委員会 石川県土木部との意見交換会
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
- 30日(金) 事務局打合せ
地区協会 合同研修会 (小松市内)

平成30年12月以降の行事予定

- 12月 3日(月) 正副会長会議
土地改良委員会 施策提案 (南加賀農林)
- 4日(火) 品質管理監査会議〔生コン工組〕
(KKRホテル金沢)
- 6日(木) 土地改良委員会 施策提案(石川農林、県央農林)
- 7日(金) 羽咋工業高校 意見交換 (羽咋工業高校)
土木委員会 工事現地検討会班長会議
(金沢市内)
- 土地改良委員会 意見交換会 (金沢市内)
- 11日(火) 全国建産連 専門工事業全国会議
- 13日(木) 金沢市立工業高校(土木)意見交換会
(金沢市立工業高校)
- 14日(金) 全国技士会連合会 事務局長及び実務担当者合同会議
(アルカディア市ヶ谷)
- 19日(水) 理事会・知事懇談会 (金沢ニューグランドホテル)
- 平成31年
- 1月15日(火) 建築設計等関連7団体合同新年互礼会
(ホテル日航金沢)
- 18日(金) 全国建産連 理事会・協議員会
- 21日(月) 講演会・新年祝賀会 (ホテル日航金沢)
- 25日(金) 土木委員会 新年会 (粟津温泉のとや)
- 2月 1日(金) 土木委員会 金沢河川国道事務所との意見交換会
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
- 7日(木) 北陸地方整備局との意見交換会
- 26日(火) 3県技士会と北陸地方整備局との意見交換会
(新潟 東映ホテル)
- 3月 6日(水) 土木委員会 現場視察・研修会(～10日)

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- 協会報の発行 毎月1日発行
(毎月10日前後納入、会員送付)
- 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当
 TEL 076-242-1161(代)内線40番

会員消息

今月は届出はありませんでした。なお、変更等があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

平成30年11月行事予定

- 11月 1日(木) 全国建設労働問題連絡協議会(全建)
(東京 鉄鋼会館)
- 石川県商工会連合会 大会 (金沢流通会館)
- 2日(金) 正副会長会議
- 6日(火) 土木委員会 工事現地検討会
(南加賀、白山野々市、県央、中能登)
- 7日(水) 市町要望 (河北地区)
建設キャリアアップシステム説明会
(金沢市ものづくり会館)
建設業法令遵守に関する講習会
(金沢市ものづくり会館)
- 地区協会打合せ(羽咋工業高校意見交換会)
(羽咋都市建設業協会)
- 石川県産業教育振興会 研究協議会
(石川県地場産業振興センター)
- 8日(木) 土木委員会 工事現地検討会
(奥能登(輪島・珠洲))
建築委員会 住宅部会研修 (小松市内)
平成30年暴力団追放石川県民大会
(こまつ芸術劇場うらら)
- 9日(金) 建設青年委員会 講演会(建山氏)(ホテル金沢)
- 13日(火) 登録解体工事講習会(能登会場)
(奥能登総合事務所41会議室)
- 全国建産連 専門工事業委員会
(東京 建設業振興基金)
- 14日(水) 土地改良委員会 施策提案(北陸農政局(広坂))
- 15日(木) 建築委員会 加賀地区安全パトロール
(小松特別支援学校)
- 石川県土木施工管理技士会 現場研修会
(金沢市内(金沢港、月浦トンネル))
- 中部・北陸ブロック事務担当者会議「建退共」
(福井 ユアーズホテルフクイ)
- 石川県生コンクリート工業組合 設立40周年記念式典
(ホテル日航金沢)
- 16日(金) 会報編集委員会
ドローン講習会
金沢市立工業高校(建築)意見交換会
(金沢市立工業高校)
- 17日(土) ドローン講習会 (金沢市七曲)
第2回女性のつどい (金沢ニューグランドホテル)
- 18日(日) 金沢港クルーズターミナル建設工事安全祈願祭・起工式
(金沢みなと会館前)
- 19日(月) 全建 技術研究発表会 (東京 鉄鋼会館)
平成30年度保証事業石川協議会定例会・懇談会
(KKRホテル金沢)
- 白山野々市建設業 暴力団等排除推進会議研修会
(グランドホテル白山)
- 20日(火) 全建 全国会長会議 (東京 経団連会館)
- 21日(水) 市町要望 (能登地区)
人権シリーズ講座 (石川県庁)
石川県景観審議会計画部会 (石川県庁)
- 22日(木) 市町要望 (能登地区)
広報・研修委員会 企画部会
人材確保対策推進協議会 (金沢駅西合同庁舎)

- 26日(月) 経営講習会
- 27日(火) 土地改良委員会 施策提案
(県庁、手取川事業所、西北陸)
- 28日(水) 土地改良委員会 施策提案
(奥能登農林、中能登農林)
- 全建協連 専務・事務局長会議
(東京 東海大学校友会館)
- 29日(木) 土木委員会 石川県土木部との意見交換会
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
- 30日(金) 事務局打合せ
地区協会 合同研修会 (小松市内)

平成30年12月以降の行事予定

- 12月 3日(月) 正副会長会議
土地改良委員会 施策提案 (南加賀農林)
- 4日(火) 品質管理監査会議〔生コン工組〕
(KKRホテル金沢)
- 6日(木) 土地改良委員会 施策提案(石川農林、県央農林)
- 7日(金) 羽咋工業高校 意見交換 (羽咋工業高校)
土木委員会 工事現地検討会班長会議
(金沢市内)
- 土地改良委員会 意見交換会 (金沢市内)
- 11日(火) 全国建産連 専門工事業全国会議
- 13日(木) 金沢市立工業高校(土木)意見交換会
(金沢市立工業高校)
- 14日(金) 全国技士会連合会 事務局長及び実務担当者合同会議
(アルカディア市ヶ谷)
- 19日(水) 理事会・知事懇談会 (金沢ニューグランドホテル)
- 平成31年
- 1月15日(火) 建築設計等関連7団体合同新年互礼会
(ホテル日航金沢)
- 18日(金) 全国建産連 理事会・協議員会
- 21日(月) 講演会・新年祝賀会 (ホテル日航金沢)
- 25日(金) 土木委員会 新年会 (粟津温泉のとや)
- 2月 1日(金) 土木委員会 金沢河川国道事務所との意見交換会
(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
- 7日(木) 北陸地方整備局との意見交換会
- 26日(火) 3県技士会と北陸地方整備局との意見交換会
(新潟 東映ホテル)
- 3月 6日(水) 土木委員会 現場視察・研修会(～10日)

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

- 随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
- 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
- 協会報の発行 毎月1日発行
(毎月10日前後納入、会員送付)
- 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注) お問い合わせは、
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当
 TEL 076-242-1161(代)内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 11月 1日(木) 役員会視察研修
 6日(火) 青年：幹事会
 12日(月) 青年：情報発信セクション
 16日(金) 青年：デザインアワード2次審査
 青年：金沢市立工業高等学校建築科との意見交換会
 20日(火) 土木：役員会
 27日(火) 土木：全体会
 28日(水) 青年：技術防災セクション
 第23回ボウリング大会

《お知らせ》

- 12月 5日(水) テレビ講座

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 11月28日(水) 土木委員会 視察研修

《お知らせ》

- 11月14日(水) 加賀商工会議所 50周年記念式典

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 11月 6日(火) 監理技術者講習
 県協会土木委員会パトロール
 13日(火) 献血奉仕活動
 15日(木) 県協会建築委員会パトロール
 16日(金) 「土木の日」懇談会

《お知らせ》

- 12月18日(火) 小松工業高校生徒の意見交換会

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 11月 9日(金) 舗装部会工事安全パトロール
 19日(月) 暴力団等排除推進会議研修会
 22日(木) 石川農林安全対策協議会工事安全パトロール
 親睦ボウリング大会
 28日(水) 土木委員会工事安全パトロール
 30日(金) 白山市・野々市市選出県議との意見交換会

河北郡市土建協同組合

《行事予定》

- 11月 7日(水) 県協会地区協会合同市・町要望

(一社)羽咋郡市建設業協会

《行事予定》

- 11月11日(日) 石川県原子力防災訓練(志賀町)
 12日(月) 除雪車ふれあい教室&建設機械試乗会
 (羽咋土木事務所)
 25日(日) 石川県防災総合訓練(宝達志水町)

《お知らせ》

- 「小学生の見た建設の絵」入賞作品展示
 10月31日(水) 志賀町役場1階ロビー(～11月7日)
 11月 7日(水) 宝達志水町民センター「アステラス」(～14日)
 14日(水) 宝達志水町「さくらドーム21」(～21日)

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 11月14日(水) 建築委員会研修視察(～16日)

《お知らせ》

- 12月 5日(水) 監理技術者講習会

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 11月 6日(火) 奥能登土木委員会と奥能登土木総合事務所との意見交換会
 8日(木) 県協会土木委員会工事現地検討会
 20日(火) 労働災害防止安全パトロール
 (奥能登農林総合事務所管内)
 21日(水) 建設産業市町要望(～22日)

《お知らせ》

- 12月 6日(木) 正副会長会議、理事会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 11月 2日(金) 理事会
 6日(火) 奥能登土木総合事務所との意見交換会
 (奥能登土木委員会)
 28日(水) 土木部会

石川労働局からのお知らせ

～事業主のみなさまへ～

「一人でも雇ったら、労働保険の加入手続きが必要です」

労働者(パート、アルバイトを含む。)を一人でも雇っている事業主は、労働保険(労災保険と雇用保険の総称)に加入することが義務づけられています(農林水産の事業の一部を除く。)

まだ加入手続きを行っていない事業主の方は、まずは、石川労働局又は最寄りの労働基準監督署・ハローワークへご相談ください。

詳しくは、石川労働局労働保険徴収室(076-265-4422)へお問い合わせ下さい。